

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	最近の更新年月日
真庭市	栗原地区 〔木樵山上,木樵山中,木樵山下,余河内奥,余河内中,余河内下西,余河内下東,古市場下,古市場上,西谷池の内,不動寺和田山,更生,坂本,相原,鹿峰上,鹿峰西,鹿峰東〕	令和5年3月13日	令和 年 月 日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	86.61 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	71.28 ha
③地区内における75歳以上の農業者の耕作面積の合計	7.26 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.33 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3.17 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	27.40 ha

### 2 対象地区の課題

- ① 水稲を主体とした兼業農家が中心の農業地域であるが、高齢化や後継者不足により担い手の確保が困難になりつつある。
- ② 中山間地域であり、1筆当りの農地面積が小さく畦畔が広いため、作業効率が悪い。
- ③ 地域ぐるみで農地、水路、農道などの基盤の保全に取り組んでいるが、水路の老朽化が進んでおり、早急な改修が必要となっている。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

集落営農組織と担い手農業者への集積を推進するとともに、収益性の向上や農作業の効率化により新たな担い手の確保を図る。

### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

- ① 農地の貸付等の意向  
アンケート調査の結果、耕地面積の約36%に当たる31.39haで貸付等の意向が確認され、そのうち23.25haは既に個人、集落営農組織及び農地中間管理機構へ貸付済となっている。
- ② 農地中間管理機構の活用方針  
農地中間管理機構を活用し、農地の集積、集約化により効率的な営農の実現を図る。
- ③ 基盤整備への取組方針  
地区内の3水利組合において中山間地域総合整備事業（農業用排水施設整備）を活用した水路改修に取り組む。
- ④ 作物生産に関する取組方針
  - (1) 集落営農組織では、米と大豆のブロックローテーションに取り組むとともに、収益性の高い白ネギやキャベツの生産に取り組む。
  - (2) 里海米、果樹等の栽培に取り組み、収益性の向上を図る。
  - (3) 地域内外の畜産農家との連携により、稲わらと堆肥の交換を積極的に推進し、資源循環による地力向上と化成肥料の低減による低コスト化に取り組む。



